

長崎市立小ヶ倉中学校学校経営方針

1 長崎市のまちづくりの方針

長崎市第五次総合計画 A～H

[令和 4 ～ 1 2 年度]

まちづくりの方針 G 1 ～ G 4

私たちは「未来を創る人を育み、
だれもが学び、楽しみ続けられる
まち」をめざします

基本施策 G 1 (学校教育)

長崎のまちを愛し、新たな時代
を生き抜く子どもを育みます

【 2025 年度にめざす姿 】

長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、
新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている。

- ◆ G 1-1 「確かな学力」の向上を図ります
- ◆ G 1-2 健やかな心と体を育成します
- ◆ G 1-3 家庭・学校・地域の連携による教育の充実を図ります
- ◆ G 1-4 安全・安心に学べる教育環境を整備します

2 学校教育目標及び経営方針

【 校 訓 】

自主 勤労 敬愛

【 学校教育目標 】

心豊かで、自ら考え行動できる生徒の育成

【 経営スローガン 】

努 力 夢 現

～努力を続け、夢や目標が実現・達成できる学校～

目指す生徒像

- 礼儀正しく、思いやりのある生徒
- 自ら考え、自ら学ぶ生徒
- 粘り強く、たくましく生きる生徒
- すすんで働き、公共のために尽くす生徒

目指す学校像

- 清掃が行き届く学校
- 校歌が響き渡る学校
- あいさつ・笑顔が満ちあふれる学校
- 学習・運動ともに励む学校

目指す教職員像

- 教職者としての使命に徹する職員
- 指導者としての識見と指導力の向上に努める職員
- 生徒との心の触れ合いを大切にし、ともに歩む職員
- 生徒・保護者・地域からの願いと信頼に応える職員

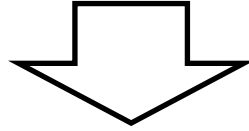
【 重点目標 】

- (1) 学力向上、キャリア教育の推進
- (2) 生徒指導・教育相談の充実
- (3) 健康・安全教育の推進
- (4) 教育環境の整備
- (5) 開かれた学校づくりの推進
- (6) 働き方改革に向けた職場づくり

【経営の柱】

「多様性を尊重し、社会を生き抜く力を育む」

多様な社会を生き抜くために、主体性があり、自己有用感の高い生徒を育てていく



「幸せに生きる力」の育成
～ 次のステージで輝くために今を大切に ～

そのために

- 1 教育のベクトルを合わせる（学校経営→学年経営）
- 2 教える教育と自ら調べ考える教育の調和を図る
- 3 学校は「失敗が許される場所」であることを徹底する
- 4 目標は乱立しすぎず、成功させるための手段を考えさせる



- 1 生徒たちが行きたくなる学校
- 2 保護者・地域が信頼している学校
- 3 教職員が心地よく働ける学校

「KOGAKURA DREAM」

3 重点目標達成のための具体的取組

(1) 学力向上の推進 (G1-1)

- ① 生徒の発表、笑顔を引き出す授業づくり
- ② 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業
- ③ 「ねらい」と「まとめ」場面の明確な設定
- ④ 基本的学習規律（学習のきまり）の確認
 - 1 3分前入室、2分前着席、1分前黙想・立腰
 - 2 あいさつ、返事、発表
 - 3 体を向けて、話を聞く
- ⑤ 学習者用パソコン（クロームブック）の活用（毎日の持ち帰りの習慣化）
- ⑥ 学力調査(国・県・市)、学力診断問題(年3回)の課題改善を意識した授業
- ⑦ 学力向上プランの共通理解
- ⑧ 読書の奨励及び図書館教育の充実
- ⑨ キャリア教育の計画的推進と発信
- ⑩ 家庭学習の検討（やったらプラス）
- ⑪ 評価、評定の確認（新しい公立高校選抜への対応）

(2) 生徒指導・教育相談の充実 (G1-2、G1-3)

- ① 報告・連絡・相談の徹底（学年・生徒指導主事・管理職）
- ② 生徒指導の共通理解と実践（週1回の生徒指導委員会の内容の学年への周知）
- ③ 特別支援教育の充実（支援が必要な生徒の情報共有と支援体制づくり）
- ④ 不登校生徒に対するきめ細やかな指導（学習支援と定期的な家庭訪問）
- ⑤ 「学級アセスメント」の効果的活用（年2回実施）
- ⑥ SC、SSW、関係機関等（警察含む）との積極的な連携
- ⑦ いじめ防止基本方針の確認（いじめ未解決0）
- ⑧ 教育相談の充実（毎月アンケート結果の活用）

(3) 健康・安全教育の推進 (G1-2)

- ① 感染症対策の共通理解及び実施
- ② フッ化物洗口の実施（安全面の留意）
- ③ 学校給食の充実（食育の意義、食物アレルギー生徒の共通理解）
- ④ 学校体育の充実（体力向上プランの共通理解）
- ⑤ 部活動の地域移行へ向けての取組(令和9年夏までに休日の完全地域移行)

(４) 教育環境の整備 (G1-4)

- ① 整頓された教育環境づくり (ユニバーサルデザイン化)
- ② **安全点検の徹底 (点検結果の修理・修繕)**
- ③ 無言清掃の実施 (倉中スタンダード)
- ④ 校内掲示物及び掲示板の充実 (旬の学習成果物や入賞作品等の掲示・展示)
- ⑤ **職員室・印刷室の整理整頓**

(５) 開かれた学校づくりの推進 (G1-3)

- ① **ホームページ更新、テトルの運用、各種便りによる情報発信**
- ② 地域や保護者からの情報受信
- ③ 育友会・課外クラブ振興会との連携 (総会、評議委員会、理事会、本部会など)
- ④ 地域行事への協力 (育成協、まちづくり連絡協議会など)
- ⑤ 小中連携による生徒指導・授業づくり
(校区内３校で統一した学習及び生徒指導規律の実践など)

(６) 働き方改革に向けた職場づくり

- ① **ボトムアップによる行事等 (通知表含む) の見直し**
- ② C4th の有効活用による時間短縮 (外勤届)
- ③ **校務 DX の推進**
- ④ 計画的な休暇等の取得 (取得する際は教務主任へも事前に連絡)
- ⑤ 優先順位と見通しをもった業務推進 (時間外在校時間月 4 5 時間以上 0)
- ⑥ 定時退校日の実施 (週 1 回 : 原則水曜日は 17 : 15 に校舎完全施錠)
- ⑦ **部活動終了 30 分後 (18:45、冬時間は 17:50) の校舎施錠**
(やむを得ず残る場合は、自分から教頭へ連絡し、自分で施錠)
- ⑧ 希望者はフレックスタイムを活用
- ⑨ **横のつながりの重視 (「聞いてないよ」ということがないように)**
- ⑩ 同僚性の醸成 (フォローとサポート)
- ⑪ **チーム担任制による学年経営の円滑化**